

取扱説明書

コード調節型フランチ

保管用



白熱灯ペンダント (天井付け専用型)

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれています。この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：配線器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

仕様

品番	適合電球
PE-2526 PE-2527	E17 PSクリプトン電球 60W まで×1灯

※ 使用できるランプ E17 電球形蛍光ランプ A15形

この取扱説明書のマークについて

- ⚠ **警告** 説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
- ⚠ **注意** 説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
- ❗ **!** このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
- 🚫 **⊘** このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

警告

- 🚫 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。
 - 🚫 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。
 - ❗ 付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。
 - 🚫 ダクトプラグの一部が欠けていたり、ヒビが入っている場合には絶対に使用しないでください。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。
 - 🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。
 - 🚫 次のような場所には取付けないでください。★器具の落下事故の原因となります。
- 壁面

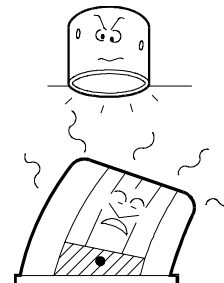
傾斜した場所

不安定な場所

ケースウェイにセットされている配線器具
- 🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。
 - 🚫 エアコンの吹き出し口の近くに設置しないでください。
★器具がゆれて破損する原因となります。
 - 🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

注意

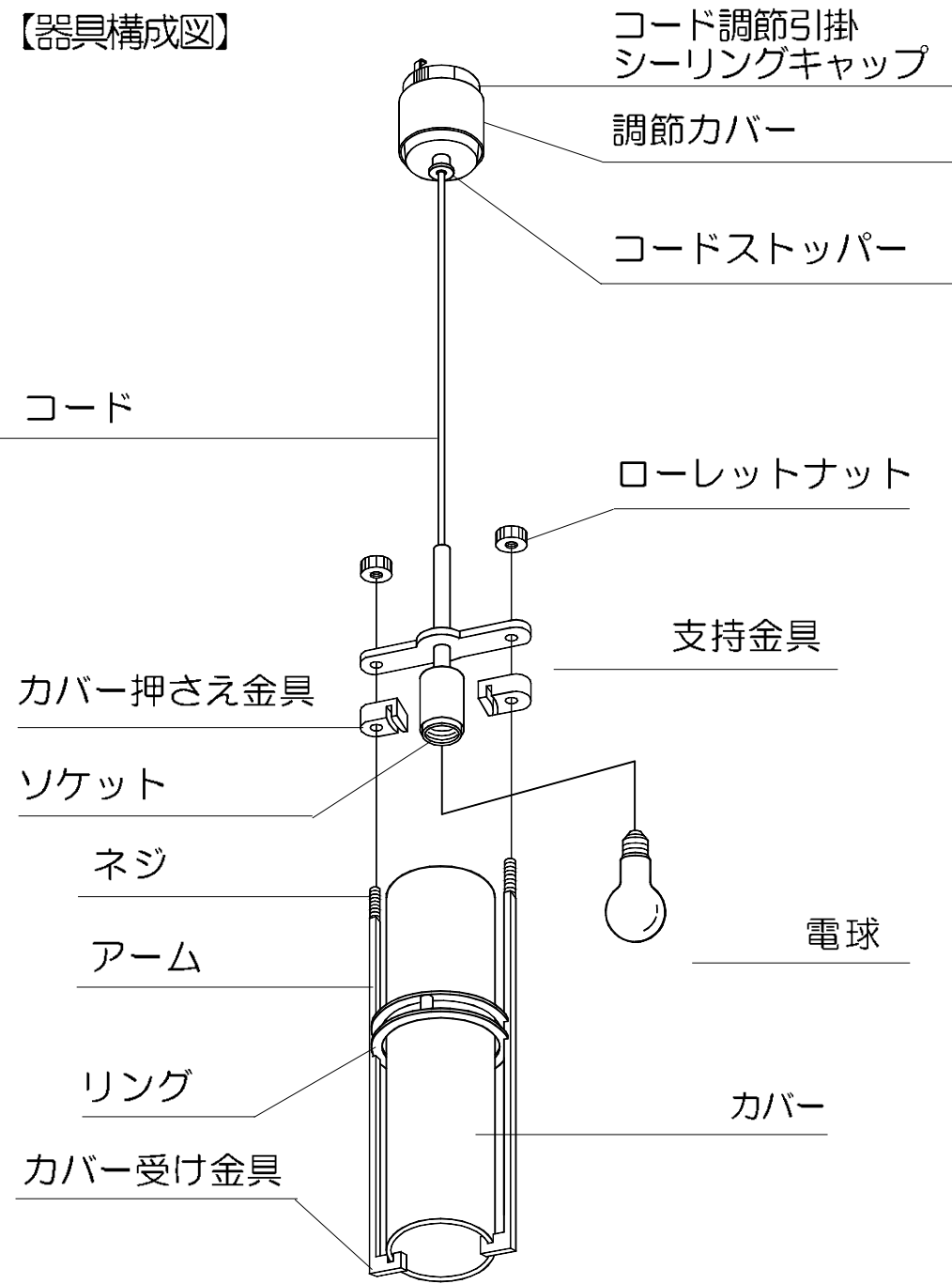
- ❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。
- ❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。
- 🚫 ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。
- 🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。
- 🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
- 🚫 電球形蛍光ランプを使用する場合は調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。



各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】

-  角形引掛け
シーリングボディ …… 1個
-  木ネジ
(シーリングボディ用) …… 2本
-  E17PSクリプトン電球
(ホワイト) 60W …… 1個
-  取扱説明書(本書) …… 1枚
-  保証とアフターサービス
について …… 1枚
-  手袋 …… 1組

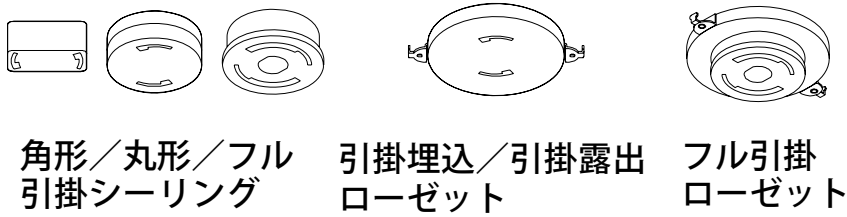
取り付け方

△注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

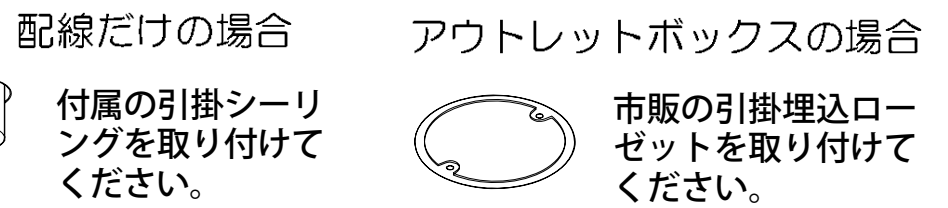
△警告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

取り付け場所の確認

すぐ取り付けられます

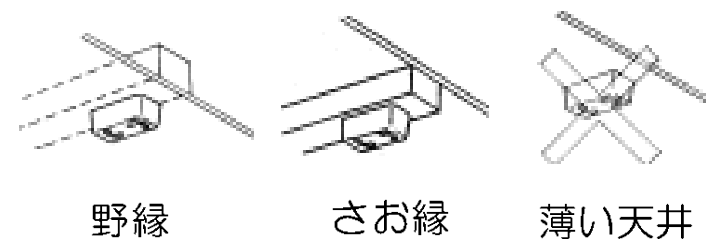


配線器具の取付工事が必要です



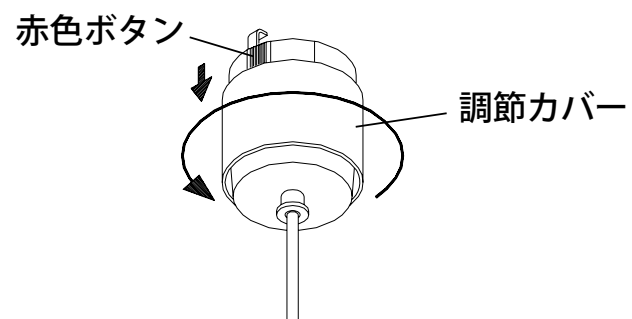
△警告 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

△注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



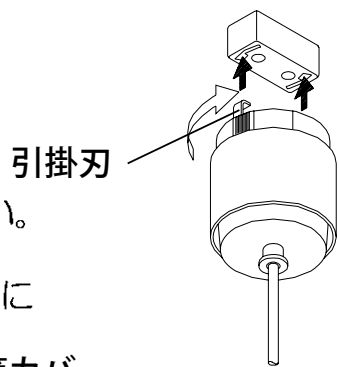
器具を取り付ける前に

- コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーを左に回して赤色のボタンが完全に見えるまで下げてください。



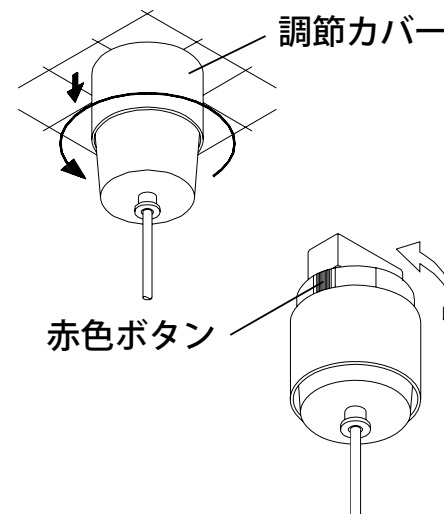
1. 器具を取り付けます。

- ①コード調節引掛シーリングキャップの2本の引掛刃を引掛シーリングボディに挿入し、カチッと音がするまで右へ回してください。
- ②コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーが天井面、または配線器具にあたるまで時計方向に回してください。
※ローゼットタイプの配線器具の場合は、配線器具を調節カバー内に収納できません。



引掛シーリングキャップのはずし方

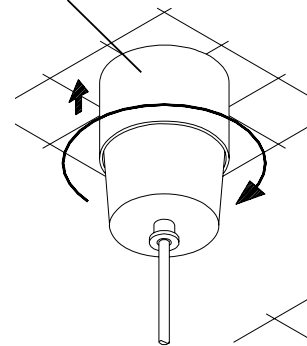
- ①器具を天井から取り外す場合は、コード調節引掛シーリングキャップの調節カバーを左に回して、赤色のボタンが完全に見えるまで下げてください。
- ②赤色のボタンを押しながらコード収納引掛シーリングキャップを左に回してはずしてください。



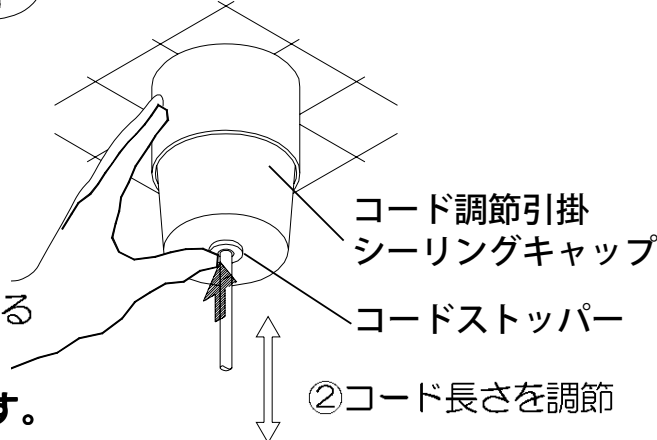
2. 器具高さを調節します。

- ①コードストッパーをコード調節引掛シーリングキャップ側に押し付けながらコード長さを調節します。(調節可能範囲：700mm)
- ②調節が終わりましたら、コードを下側に引きコードストッパーで固定されているか確認してください。

調節カバー

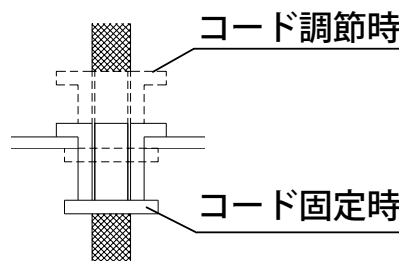


①押し付ける



②コード長さを調節

コードストッパーの位置



⚠ 注意

- 全長500mm以下では使用しないでください。
- ★過熱して、発煙や発火の原因となることがあります。

3. 電球をセットします。

- ⚠ 注意 ●電球は乱暴に取り扱わないでください。★電球割れなどの事故の原因となります。

4. アーム、カバー受け金具をはずします。

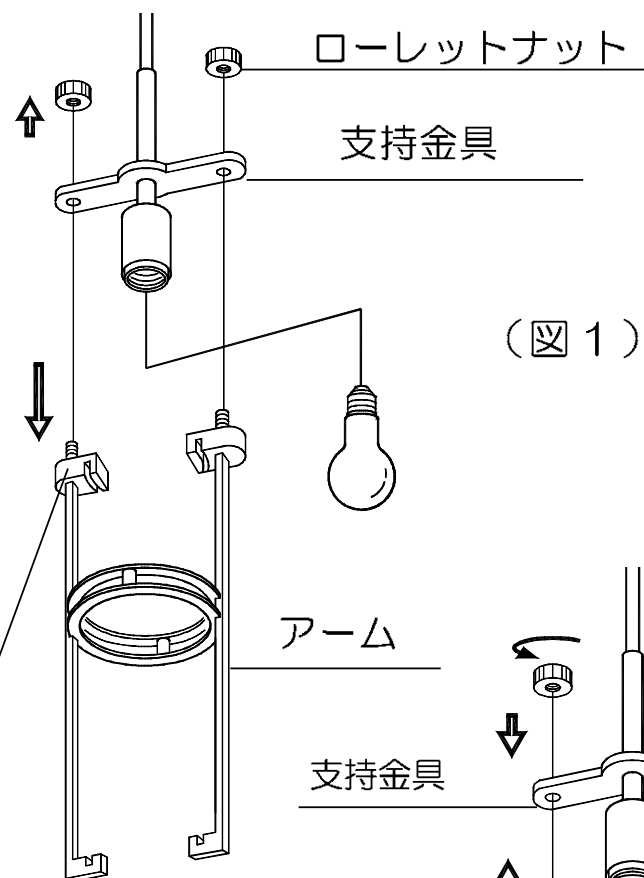
手袋をはめてください。
梱包から取り出した際のカバー保護の為のパッキン(緩衝材)は、はずしてください。

- ⚠ 注意 ●カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの落下事故の原因となります。

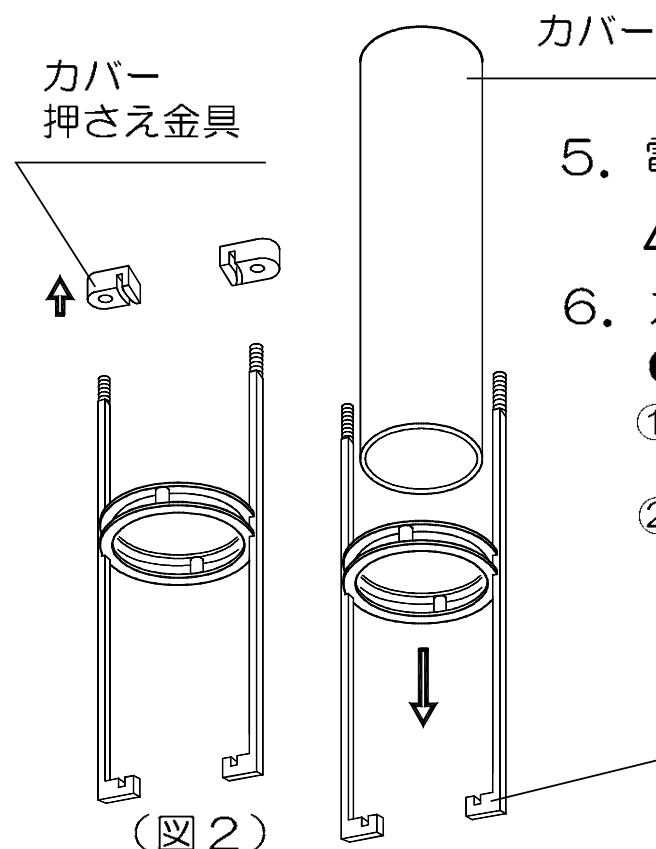
- ①アームを手で支えながらローレットナットをはずします。(図1)
- ②アームとカバーを手で支えながら、支持金具からカバー押さえ金具とアームを一緒にはずします。(図1)

- ⚠ 注意 ●アームを必要以上に傾けないでください。
★カバーの落下事故の原因となります。

- ③カバー押さえ金具をはずしてカバーをリングに通し、カバー受け金具の溝にセットします。(図2)



(図1)



(図2)

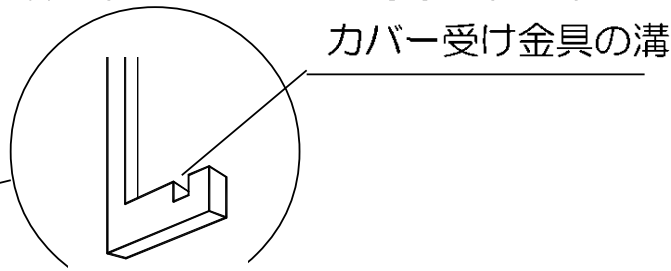
5. 電球をソケットにセットします。

- ⚠ 注意 ●電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。

6. カバーをセットします。

●カバーの取付け方

- ① 3. でセットしたカバー付きアームのネジにカバー押さえ金具をセットします。(図3)
- ②ネジを支持金具に通しローレットナットで締め付けて固定します。(図3)



(図3)

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて ⚠ 注意 ⚠ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

- ❗ ●電球の交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。
- 🚫 ●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。
- 🚫 ●電球は乱暴に扱わないでください。★電球が割れてけがをする恐れがあります。
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると、異常過熱による火災の原因になります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。
●ダクトプラグ周りのゴミやホコリは、乾いた柔らかい布でよく拭いて取り除いてください。
★火災や感電事故の原因となることがあります。

◆電球の交換

1. スイッチを切ります。
2. アーム、カバー受け金具をはずします。

⚠ 注意 ⚠ ●カバーにヒビが入っていたり一部が欠けている場合には、ただちに新しいカバーと交換してください。
★カバーの落下事故の原因となります。

- ①アームを手で支えながらローレットナットをはずします。(図1)
- ②アームとカバーを手で支えながら、支持金具からカバー押さえ金具とアームを一緒にはずします。(図1)

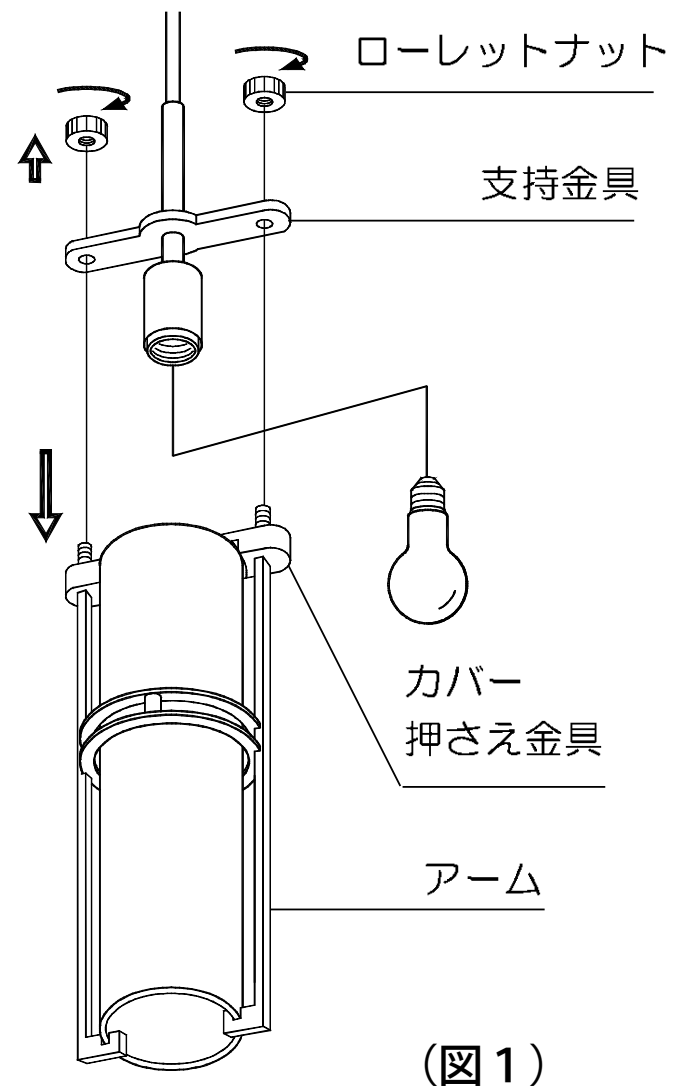
⚠ 注意 ⚠ ●アームを必要以上に傾けないでください。
★カバーの落下事故の原因となります。

3. 電球を交換します。

⚠ 注意 ⚠ ●電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。

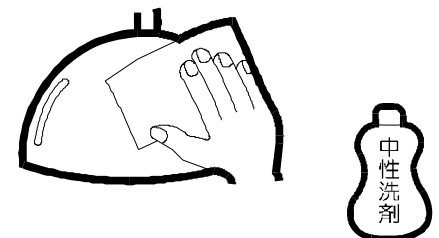
4. カバーをセットします。
●『取り付け方』の「6 . カバーをセットします。」の項目をご参照ください。

⚠ 注意 ⚠ ●カバーは乱暴に取り扱わないでください。
★カバー割れによる「けが」の原因となることがあります。



◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。